

えっ!? 銀歯が原因で 金属アレルギー?



歯科の治療では銀歯をはじめ、金属を使うことが多々あります。保険治療では、ある程度の大きさのむし歯治療となると、ほとんどの場合、銀歯を選択せざるを得なくなります。

しかしこの銀歯は唾液など様々な影響でイオン化して溶け出し、歯茎が黒ずんだり、体内に取り込まれて掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)や、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、その他難治性の皮膚炎などの様々なアレルギー症状を起すことが最近分かってきました。口の中に症状が



出ないことも多いため、原因不明のアレルギー症状の原因が歯科金属であることすら気づいていない人が多いのが現状と考えられます。

金属アレルギーは、現在発症していなくても、ある日突然発症する可能性があります。また、発症しても気がつきにくいのが厄介なところ。既にお口の中にある銀歯などの金属をノンメタル治療でやりかえることで、金属アレルギーの原因を取り除くことができます。

ノンメタル治療の主な種類

コンポジットレジン(プラスチック)

前歯のむし歯治療や、奥歯の小さめのむし歯治療の場合に行います。保険が適用されます。



ハイブリッドセラミック

コンポジットレジンとセラミックを混ぜ合わせた材料です。年数が経つと、多少変色する可能性があります。保険適用外ですがオールセラミックより安価です。



オールセラミック

セラミック100%の材料で、生体親和性、審美性ともに優れています。最近では非常に強度の高い「ジルコニア」という材料も使われるようになり、ブリッジなどのケースであっても、ノンメタルで行えるようになりました。



唾液の力で お口を健康に!

唾液は、健康な方ですと、一日に1ℓ~1.5ℓも分泌されており、歯や全身の健康を保つために大切な働きをしています。しかし、加齢とともに唾液の分泌量は減ります。しっかり噛んで食事をする、唾液の出る唾液腺を口の外側から優しくマッサージするなどして唾液をしっかりと分泌させ、健康なお口の中を保ちましょう。

消化促進

唾液は消化液の役割をします。唾液中の酵素が、炭水化物の中に含まれているデンプンを分解します。



≧ 唾液の働き ≦

食べ物をまとめる

噛んで細くなった食べ物を、飲み込みやすいようにまとめます。



口の中の清掃作用

自浄作用といって、歯や舌の表面についた食べ物の汚れや、細菌を洗い流す作用です。唾液は、食事をしていない時でも自然に分泌され、自浄作用が働きます。



むし歯を防ぐ

食べ物が口に入ると、口の中は、ほぼ中性の状態から、酸性に傾きます。酸性になると、むし歯になりやすくなります。唾液は“酸”を中和して、中性に戻す働きをします。



再石灰化作用

唾液には、むし歯菌が出した酸によって、溶け出した歯のカルシウムやミネラルを、歯に補充し修復する働きがあります。これを再石灰化作用といいます。

味を認識する

味は“舌”で感じますが、舌に味を伝える役割をしているのは、唾液です。食べ物を溶かし、味を感じる味蕾細胞の働きを助けます。

細菌の増殖を抑える

「抗菌作用」と言われるものです。唾液は、抗菌作用を保つ物質が含まれているので、細菌の増殖を抑えて感染を防ぐ事ができます。

粘膜を保護する

口の中の乾燥を抑える保湿効果があります。そして、食べ物などの外部からの刺激に対して、粘膜を保護し、口の中が傷つくのを防ぎます。

発音をしやすくする

唾液で口が湿っていることで、口の動きを滑らかにし、発音を助けます。

